

■業務体制

課/担当	主な業務	電話番号 (市外局番 025)
総務課	●庁舎管理・局内の連絡調整	552-1781
業務課	●庶務全般に関する業務 ●入札及び契約に関する業務	552-1790
用地・行政課	用地担当	●公共土木施設の整備に係る用地取得、物件補償等の事務
	行政担当	●砂利・岩石採取、火薬類の取扱い、屋外広告物等に係る許認可事務 ●公共土木施設に係る許認可事務
計画調整担当	●公共土木施設の整備に係る計画調整 ●広報	553-1969
維持管理課	●県管理道路の維持管理 ●交通安全、防雪、災害防除等工事	553-1971
道路課	●道路の改良 ●松糸・今井道路の整備	553-1975
河川・砂防課	河川・砂防担当	●県管理河川、海岸の維持管理及び工事 ●水防法に係る事務 ●砂防施設の維持管理及び工事
	地すべり担当	●地すべり対策工事（国土交通省関係） ●急傾斜地崩壊対策及び雪崩対策工事
港湾課	●姫川港の整備及び港湾区域内の海岸整備 ●筒石漁港、能生漁港、浦本漁港、市振漁港の整備及び漁港区域内の海岸整備	553-1977
土木部技術管理課 (糸魚川駐在 土木工事検査員)	●土木工事の検査業務	552-9341

いといがわ 糸魚川



冬の権現岳と集落雪崩対策施設（糸魚川市柵口地内）

④久比岐（くびき）自転車道

久比岐自転車道は、旧国鉄北陸本線跡地を利用した、国道8号に沿って走る自転車と歩行者の専用道路です。

上越市虫生岩戸から糸魚川市中宿まで全長約32kmの距離で、海沿いを走るルートからは、日本海の美しい風景を楽しむことができ、条件が良ければ佐渡島や能登半島も望むことができます。



令和8年3月作成

新潟県糸魚川地域振興局地域整備部



所在地：〒941-0052 糸魚川市南押上 1-15-1
 電話：025-552-1790（地域整備部代表）
 F a x：025-552-9674
 E - M a i l：ngt112050@pref.niigata.lg.jp
 U R L：https://www.pref.niigata.lg.jp/site/itoigawa-seibi/

糸魚川ジオパークを応援しています！

管内の概要

糸魚川地域振興局の所管区域は、“平成の大合併”により、糸魚川市、西頸城郡能生町、青海町の1市2町が合併して誕生した糸魚川市です。

糸魚川市は、新潟県の西南端に位置し、長野県及び富山県に接しており、2つの国立公園（中部山岳国立公園、妙高戸隠連山国立公園）と3つの県立自然公園（親不知・子不知、久比岐、白馬山麓）に代表される、海岸から山岳までの豊富な自然に恵まれています。



ヒスイ峡



ヨシオ滝



小滝地区の雪景色

その反面、冬期風浪による波浪被害や水害、土砂災害などの大規模な自然災害も発生しており、また、豪雪地帯でもあることから、安全・安心の確保が課題となっています。

産業面では、古くから、ヒスイや石灰石等の鉱物資源が豊富に産出されており、これらを生かした産業が発展してきました。また、管内の姫川から長野県の諏訪湖を通して、安倍川（静岡市）に至る大断層線“糸魚川-静岡 構造線”など、地質に関する学術資源も豊富です。

糸魚川市では、平成21年8月に日本初の世界ジオパークに認定された“糸魚川ジオパーク”の普及促進や、平成27年3月に北陸新幹線が開通したことによる観光客の増加に対応した様々な取り組みが行われています。地域整備部では、こうした取組みへの支援のほか、安全・安心・快適な社会基盤整備に全力を挙げて取り組んでいます。



糸魚川市データ	
◆位置	東経 137° 52' 北緯 37° 02'
◆面積	746.24 km ²
◆人口	36,867 人
◆世帯数	16,765 世帯
※人口と世帯数は、令和8年3月1日現在	



糸魚川ジオパーク
マスコットキャラクター

←ジオまる
ぬーな→



翡翠（県の石）令和4年11月4日指定
(糸魚川市提供)

管内県管理施設の概要

(令和7年4月1日現在)

■道路

区分	路線数	実延長 (m)	内訳			
			改良率		舗装率	
			改良済延長 (m)	比率 (%)	舗装済延長 (m)	比率 (%)
一般国道	1	24,041.4	24,041.4	100.0	24,041.4	100.0
主要地方道	1	1,168.7	1,168.7	100.0	1,168.7	100.0
一般県道	21	129,952.2	103,214.9	79.4	127,145.3	97.8
自転車道	1	12,899.0	12,899.0	100.0	12,899.0	100.0
合計	24	168,061.3	141,324.0	84.1	165,254.4	98.3

■道路施設

区分	橋梁数	トンネル数	シェッド数	シェルター数
一般国道	18	6	109	1
主要地方道	0	0	0	0
一般県道	105	0	9	0
自転車道	22	3	1	0
合計	145	9	119	1

■河川

区分	水系数	河川数	延長 (m)	備考
一級河川	1	25	76,183	姫川(国土交通省直轄区間11,000mを除く。)
二級河川	16	37	135,204	能生川水系、早川水系、海川水系等
合計	17	62	211,387	

■海岸保全区域数及び延長

所管	海岸数	延長 (m)
国土交通省水管理・国土保全局	9	20,571
国土交通省港湾局	3	4,208
農林水産省	4	5,031
合計	16	29,810

■港湾

名称	区分
姫川港	地方港湾

■漁港

指定種別	港名
第三種	能生漁港
第二種	筒石漁港
	浦本漁港
	市振漁港
計	4港

■砂防指定地

箇所数	面積 (ha)
103	2619.53

■地すべり防止区域指定

箇所数	面積 (ha)
60	3,179.27

■急傾斜地崩壊危険区域

箇所数	面積 (ha)
29	50.63

■土砂災害警戒区域

警戒区域		特別警戒区域	
区域数	面積 (ha)	区域数	面積 (ha)
800	8,738.93	526	338.37

●砂防・地すべり

台風や梅雨前線による大雨、新潟焼山の噴火などにより、発生する恐れのある土石流災害から人命や財産を守るため、砂防設備の計画的な整備を行っています。

地すべり防止区域では、人家や公共施設へ被害を及ぼす恐れのある箇所に重点を置き、原因となる地下水位を排除する水抜きなどの対策工事を行っています。

また、がけ崩れや雪崩などの斜面災害を未然に防止するための工事を行っています。

この他にも、土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域等の指定や、新潟焼山の火山災害防止のため、カメラ等による常時監視を行っています。



火打山川 第5号砂防ダム



中野口地区 地すべり防止区域

●河川・海岸

姫川をはじめとした管内の17水系62河川について、洪水から人命財産を守る“治水”、生活に必要な水を供給する“利水”、人と自然の調和した“環境”の3つを柱とした総合的な河川の整備や維持管理を行っています。

また、管内の約30km（港湾海岸、漁港海岸含む）の海岸では、日本海の厳しい冬期風浪による越波や浸水被害から、みなさんの命と暮らしを守るため、人工リーフや離岸堤などの海岸保全施設を整備しています。



二級河川 前川



離岸堤（玉ノ木海岸）



冬期風浪（糸魚川海岸）

●港湾・漁港

地域の主要産業である化学・セメント工業や漁業に必要不可欠なインフラである姫川港、筒石漁港、能生漁港、浦本漁港、市振漁港の港湾・漁港施設の整備や維持管理を行っています。

また、港湾・漁港に隣接する緑地や公園を通じて、生活環境を保全するとともに、憩いやレジャーの空間を提供しています。



姫川港（地方港湾）



能生漁港（第3種漁港）

●道路の維持管理

県が管理する道路を、みなさんから安全で快適に利用していただけるように、道路パトロールを行い、舗装の補修や草木の伐採、冬期間の除雪作業などの維持管理を行っているほか、交通事故防止のため、交差点の改良や歩道などの交通安全施設の整備などを行っています。

また、舗装や橋梁などの長期的な維持管理のための計画づくりに取り組んでいます。



舗装の補修作業



草木の伐採作業



除雪作業

●道路の建設

国道、高速道路や鉄道などの交通結節点と各地区を結ぶアクセス道路の整備や、冬期間でも安全に通行できる道路幅員の確保、急カーブの解消などの既存道路の改良工事を行い、緊急時・災害時にも交通機能を確保する安全で安心な道路整備を進めています。

また、北陸～長野間の広域的な物流・交流を支える地域高規格道路や管内のジオパーク拠点を結ぶ道路網を整備し、地域活力の基盤となる道路整備を進めます。



改良前



改良後

道路改良の事例（一般県道青海水崎線）

①地域高規格道路 松本糸魚川連絡道路 整備事業

地域高規格道路とは、高速道路と連携して広範囲な地域を結び、地域相互の交流や空港・港湾への連絡等を強化する道路のことです。

松本糸魚川連絡道路は、長野県松本市から新潟県糸魚川市に至る延長約100kmの交流促進型道路であり、松本～大町～糸魚川の生活圈を連絡し、広域的な交流・連携が期待される道路です。

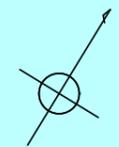
平成29年11月末に新潟県内での一部ルート帯が決定し、平成31年3月に山本橋～糸魚川ICが「松糸・今井道路」として事業化が決まりました。

引き続き、事業化区間の早期整備と残りのルート帯の決定に向けて取り組んでいきます。



糸魚川地域振興局地域整備部管内図

5km



② 姫川港 港湾改修事業



姫川港は、地域の化学・セメント産業の物流拠点として重要な社会基盤です。船舶の大型化や貨物取扱機能の強化などの社会的要請への対応として、水深11メートル岸壁（西ふ頭2号岸壁）の整備を進めるとともに、大型船が入出港する際の曳船や作業船などの小型船舶の係留箇所を確保するため、東ふ頭地区小型船だまりの整備も進めています。

③ 焼山火山砂防事業

焼山は昭和49年に大規模な水蒸気爆発を起こし、これに伴う火山泥流の発生などによって多くの被害が発生しました。このため、焼山川、火打山川、早川において火山砂防事業により砂防堰堤の整備を進めています。危険区域内住民の安全確保を目的に、監視システム整備、火山防災マップの作成などのソフト対策も行ってきており、また、ブロック堰堤整備などの緊急減災ハード対策に取り組んでいます。



←焼山の噴火の様子



新潟焼山及び対策の紹介